

# ◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 27 年度第 3 回)

## 議 事 録

2015 年 12 月 9 日 (水) 開催

時 間	15:00～17:00		場 所	地盤工学会会議室	
田中 委員長	○	亀村 オブザーバー	○	山口(恵) 委員	○
西岡 オブザーバー	×	岩崎 委員	○	熊野 委員	○
渡邊 委員	×	清木 委員	○	隅倉 委員	○
高原 委員	○	片岡 委員	○	山口(智) 委員	×
小林 委員	○	鳥巢 オブザーバー	○	藤澤 オブザーバー	○

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当の選出

隅倉委員(27-1) → 高原委員(27-2) → 片岡委員(27-3) → 山口(智)委員(27-4)

議事録担当：片岡

### 【前回議事録の確認】

【別紙 - 1】 pp. 1～ 4

- ・前回議事録の確認が田中委員長よりあったのち、参加された委員より承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 会員・支部部の動き (田中委員長)

【別紙 - 2】 pp. 5～17

- ・事業企画賞の内容に関して、H26 年度のサロン・土・カフェ W に関する内容を出すということで現在進めているとの報告が委員長よりあった。

#### 2. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向 (田中委員長)

【別紙 - 3】 pp.18～19

- ・田中委員長より、世界工学会議に関する内容が追加されているとの報告があった。

#### 3. 男女共同参画学協会連絡会関連 (清木委員)

【別紙 - 4】 pp.20～22

- ・清木委員より、10/17 に千葉大学稲毛キャンパスで開催された当シンポジウムに関する報告があった。
- ・内容的には学に所属している研究者が中心となっていたため、技術者向けの内容ではなく、シンポジウムの内容もかなり偏った内容だと感じたとの意見があった。本件を抜本的に改革させるのなら、技術者等も向けた全体的かつ現実的な内容を踏まえたシンポジウムに方向性を持っていただければという意見があった。

#### 4. 国際地盤工学会 第 15 回アジア地域会議関連 (高原委員)

【別紙 - 当日配布予定】

- ・高原委員より、11/10 に福岡で開催された当会議でのホームカミングイベントに関する報告があった。総勢 50 名以上 (内、女性は 17%、16 か国) が参加された会議となり、互いの意見を言う場として大変有意義なものであった。
- ・イベント参加者からは、海外留学の経験が母国での就職に重要であるとの話も多く聞かれたようである。

### 【審議事項】

#### 1. ダイバーシティ小特集号 (渡邊委員 (田中委員長))

- ・田中委員長より、別刷り 100 部作製、配布先は委員が顔見て渡せる先をリストアップする (後日、渡邊委員よりリストに関する連絡を各委員にする) とのことであった。

- ・配布先の基準は、大学・高専・企業の男女共同参画室宛てに持っていく方向で検討する。また、配布時に案内文を入れる、ウェブ版を閲覧しやすいようにQRコードをつけておくなどの工夫が必要。
- ・基本は「手渡しで持っていける場所」を中心にして、あとはウェブ版で確認していただく方向で検討してはとの意見もあった。
- ・各フォーラムなどを利用して別刷りを委員が持っていきような形にしてみたらどうか
- ・案内文の作成は山口（恵）委員が原案を作成するという事ので了承を得た。

## 2. メンター制度について（田中委員長）

【別紙 - 5】 pp.23～33

- ・報告書の作成に関しては鳥巢オブザーバーよりいただいている内容のものを取りまとめて次回（2月）の委員会資料とする。
- ・日本の企業でもメンター制度をとっているところがあるが、報告書作成など負担も大きく普及していないのが現状である。現状では女性技術者が生活面等で利用しているケースが多い。
- ・学会としてはCPDを利用した制度にしていけば企業としても進めやすいのではないか。
- ・報告書の作成に関しては鳥巢オブザーバーよりいただいている内容のものをもとに、現状を示した上で地盤工学会で実現できそうな制度（案）の概要とその問題点をまとめる。
- ・報告書の作成は、各委員の意見を集約し、高原委員が原案を作成するという事ので了承を得た。

## 3. サポーターメール配信（山口(恵)委員）

- ・山口(恵)委員より、サポーターメールに送る内容（全国大会のお礼、サロン・土・カフェ W や特別セッションでの内容など）を示し、12月中には配信する方向で進めているとの報告があった。

## 4. 委員会 HP の更新（片岡委員・田中委員長）

【別紙 -6】 pp.34～39

- ・トップページに委員会の主旨や各種イベントの申し込み等を示しておけばいいのではないか。
- ・トップページのリンクボタンの内容に、減免制度に関する内容のものを示したほうがよいのではないか。
- ・夏の学校とサロン・土・カフェ W に関しては、バナーを作っておくと良いのではないか。
- ・誰に向けて発信する内容なのかを考えておく必要があるのではないか。
- ・HPの更新に関しても、まずは整理整頓からスタートし、ステップを踏んで修正を加えていかないとできないのではないか。
- ・HP更新に関する管理は、熊野委員のほうで原案を作成するという事ので了承を得た。

## 5. 次回開催日の確認： 2016年2月

- ・次回は2月24日水曜日、15:00～17:00、中会議室で実施の予定。